

議会だより

NO.
200



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

小矢部市の未来を担う子どもたち



写真：雪遊びをする大谷こども園の子どもたち



11月臨時会の概要	2	委員会報告	12
議会事務事業評価	2	閉会中委員会開催状況	12
12月定例会補正予算の概要	3	会務報告	13
審議経過・人事案件	3	次回議会日程	13
審議議案・議員別賛否状況等	4~5	議会アンケート結果	14
代表・一般質問	6~11	編集後記	14

11月臨時会

11月24日に11月臨時会を開催し、条例の一部改正や工事請負契約の締結についてなど議案4件が提案され、それぞれ原案のとおり可決しました。

11月臨時会の審議経過

24日 全員協議会

議会運営委員会
本会議（提案理由説明・質疑・討論・表決）



11月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主要内容)		議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭	
条例の改正	議案第53号 小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について ・令和2年度人事院勧告に基づく特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準ずるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号 小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について ・令和2年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の給与に関する法律の一部改正に準ずるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第55号 工事請負契約の締結について ・ケーブルテレビ光ファイバ整備工事の請負契約を締結するもの。 契約金額：709,500,000円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 工事請負契約の変更について ・小矢部ホッケー場人工芝改修工事について、変更契約を行うもの。 変更による増額分：3,727,900円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年度議会事務事業評価

11月24日の全員協議会において、市議会より市当局へ議会事務事業評価の報告書を提出しました。今後、事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう市当局に求めました。

総務産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	令和元年度決算額	委員会評価
シティプロモーション事業	3,727	現在の情報発信量では少ないことから、市民を巻き込み、ターゲットとなる人に対して本市の情報をしっかりと幅広く発信すること。また、令和2年度からの計画期間において、コロナ禍の影響など適宜修正を加えながら、より効果的な事業となるよう努めること。
おやべ型1%まちづくり事業	12,697	各団体の活動について、CATVで紹介するなど市民に対して広く周知し、活動の見える化を図ること。また、事業開始から11年を経過していることから、補助率を含めた事業の見直しについて検討を行い、未来につながる事業となるよう努めること。
市営土地改良事業	14,594	市単独土地改良事業は、各地区の農業基盤の維持・向上のため重要な事業であることから、事業の拡充について検討するとともに、引き続き積極的に取り組むこと。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	令和元年度決算額	委員会評価
市営バス運行事業	54,452	コミュニティバスは、利用者が年々増加するなど需要が高まっていることから、先進事例を調査・研究し、適切な運行形態について検討していくこと。 市内外をつなぐ民営バスについては、園芸高校や砺波高校・福野高校へ通う高校生にとって唯一の公共交通と言えるが、小矢部市内にある石動高校への通学においてもその利便性は非常に重要である。特に若林線については、乗車人数の少ないことを理由に便数を減らし続け、土日運行さえも取り止めた状況にある。砺波総合病院へ通院する利用者の事も考えると、現状をもって良しとする状況にないと結論付けする。高校生や市民の方が利用しやすい運行時間や運行形態となるようバス会社へ要望等を行うことも大事だが、将来を見据えた市営バス運行事業の広域的な連携について、近隣市と協議すること。 限られた予算の中で効率よく、市民の利便性を高めていくために、路線ごとに経費を算出するなど経費分析を行うこと。
不妊治療費及び不育症治療費助成事業	7,741	こどもの出生数にもつながっていることから、継続的に助成事業を行い、より多くのこどもを望む夫婦の経済負担の軽減を図ること。 また、治療は長期間にわたることもあるため、助成相談だけでなく、健康指導や県の不妊相談センターへの仲介など、引き続き相談者に寄り添った対応を行うよう努めること。
公民館施設整備事業	6,480	雨漏り等の緊急的に発生した不具合については、長寿命化計画に関係なく、早急に調査や補修対応を行うこと。 また、老朽化がここ10年に集中していることから、公民館の使用頻度や建物の状態等の実態を把握して優先順位を決めるなど柔軟に事業を推進していくこと。

12月定例会

12月4日から17日までの14日間を会期として12月定例会を開会しました。
12月定例会では、令和2年度小矢部市一般会計補正予算や条例の一部改正、とやま
呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議についてや小矢部市
公平委員会委員の選任同意についてなど議案18件が提案され、それぞれ原案のとおり
可決しました。

また、初日には9月定例会で継続審査となっていた令和元年度小矢部市水道事業会
計剰余金の処分について及び令和元年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など議案9件
について、それぞれ原案のとおり可決・認定しました。

◎ 12月補正予算の概要

議案第57号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算（第7号）
補正額 6,190.5万円 累計予算額 182億 320.7万円

《主な事業》

- ・情報教育環境整備事業費 2,810.4万円
小中学校普通教室への電子黒板整備、児童生徒用タブレット端末
保護カバー
- ・地域医療体制整備事業費 734.1万円
- ・財政調整基金積立金 2,246.9万円
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による不用額の減額
△4,033.4万円

議案第58号 令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
補正額 109.6万円 累計予算額 29億5,308.9万円

《主な内容》

国民健康保険システム改修費、決算の確定に伴う償還金の増額

議案第59号 令和2年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
補正額 31.6万円 累計予算額 9億2,989.2万円

《主な内容》

後期高齢者医療システム改修費

議案第73号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算（第8号）
補正額 919.2万円 累計予算額 182億1,239.9万円

《主な事業》

- ・ひとり親世帯臨時特別給付金 919.2万円

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

12月定例会の 審議経過

4日	本会議（提案理由説明） 全員協議会
7日	議案調査日
8日	議案調査日
9日	議案調査日
10日	議会運営委員会
11日	本会議（代表・一般質問）
14日	地域活性化特別委員会
14日	民生文教常任委員会
15日	公共施設再編特別委員会
15日	総務産業建設常任委員会
16日	議案調査日
17日	議会運営委員会
	本会議（提案理由説明）
	全員協議会
	民生文教常任委員会
	総務産業建設常任委員会
	委員長会議
	議会運営委員会
	本会議（質疑・討論・表決）

（会期14日間）

令和2年度 議長交際費支出内訳表

令和2年4月～令和2年12月（単位：円）

区分	件数	金額	備考
1 慶弔・見舞費	6	47,150	
① 御祝・寸志	2	14,600	祝賀会、記念行事、大会祝い金等
② 激励金	2	11,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典	2	21,550	香典、生花等
2 協賛費	7	26,480	各種協賛費等
3 会費・懇談会費	3	20,000	各種団体との会議、懇親会費等
4 その他	15	154,418	訪問時・来客時記念品、お土産等
合計	31	248,048	
令和2年度予算額		1,200,000	
執行率		20.67%	

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

特別委員会の廃止

令和元年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分についてなど9議案の審査が終了したため、決算特別委員会を廃止しました。

人事案件

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

松永 まつなが 千鶴子 ちづこ 氏（島）

12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主要内容)		議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山口秀隆	山室幸雄	加藤英昭	義浦康弘	吉田雅明	藤本中	白井正力	福島正樹	中田義弘	石田幸恵	嶋田信良	沼田喜昭	砂田	
その他	議案第52号 令和元年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
決算認定	認定第1号 令和元年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第2号 令和元年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号 令和元年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第4号 令和元年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第5号 令和元年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号 令和元年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号 令和元年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号 令和元年度小矢部市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第57号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号 令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号 令和2年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) (補正予算の概要は3ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	議案第60号 小矢部市津沢コミュニティプラザ条例の一部改正について ・小矢部市津沢コミュニティプラザの使用制限について、他の施設との整合性を図るため、所要の改正を行うもの。また、使用料について、小矢部市民交流プラザとの整合性を図るため、令和3年度から見直しを行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号 小矢部市道の駅条例の一部改正について ・令和3年3月末をもって施設内の足湯を廃止することに伴い、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号 小矢部市文化スポーツセンター条例の一部改正について ・小矢部市文化スポーツセンターの利用制限について、他の施設との整合性を図るため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第63号 高岡市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について ・高岡市と小矢部市が平成28年10月3日付けで締結したとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第64号 射水市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について ・射水市と小矢部市が平成28年10月3日付けで締結したとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

区分 (主要内容)	議決結果	林	竹	出	谷	山	加	義	吉	藤	白	福	中	石	嶋	沼	砂
		登	豊	和	巧	秀	幸	英	康	雅	中	正	正	義	幸	信	喜
議案第65号 氷見市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について ・氷見市と小矢部市が平成28年10月3日付けで締結したとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号 砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について ・砺波市と小矢部市が平成28年10月3日付けで締結したとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号 南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について ・南砺市と小矢部市が平成28年10月3日付けで締結したとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約を締結するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号 小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の指定管理者の指定について ・指定管理者：となみ衛星通信テレビ株式会社 ・指定期間：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 小矢部市道の駅の指定管理者の指定について ・指定管理者：株式会社石動まっちゃプロジェクト ・指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号 小矢部市文化スポーツセンター及び小矢部市体育施設（小矢部市津沢運動広場・石動小学校グラウンド夜間照明施設・石動中学校グラウンド夜間照明施設）の指定管理者の指定について ・指定管理者：特定非営利活動法人おやべスポーツクラブ ・指定期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号 市道の路線認定について ・県道から除外される区間を新規に認定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号 交通安全都市宣言について ・交通安全都市を宣言した昭和37年当時と比較して、時代背景や交通事情等が大きく変化していることから、幅広い世代にとって分かりやすく、現状に見合った宣言文に見直すことで、改めて交通事故の撲滅に向けた強い姿勢を示そうとするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算 議案第73号 令和2年度小矢部市一般会計補正予算(第8号) (補正予算の概要は3ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事 同意第27号 小矢部市公平委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は3ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません



小矢部市議会 YouTube ページ



録画映像配信のお知らせ

小矢部市議会では、より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、本会議の録画映像を配信しています。

小矢部市議会のホームページの「議会議中継（本会議録画映像インターネット配信）」をクリックしてご覧ください。



会派「誠流」
義浦 英昭 議員



▼動画配信中

質問 新型コロナ「第3波」が拡大する中での取組、対応と、令和3年度予算編成の進捗状況について伺う。

市長 本市では、各種産業の経営状況を注視しつつ、新型コロナウィルス感染症への対応にも万全を期しながら、市民の生活と命を守り地域経済を回復させるという強い覚悟を持ち、目前に控えている令和3年度予算編成に取り組んでまいっている覚悟である。

- ◎コロナ対策の現状と今後の取組について
- ◎令和3年度予算編成の進捗状況はどうか
- ◎第7次総合計画に位置付けた事業に着手に取組むことができるのか
- ◎21年産米の減産検討について
- ◎地域農業を支える担い手や新規就農者の育成の考えについて
- ◎鳥獣対策についての取組内容と課題解決への考えについて
- ◎新学校給食センター整備基本構想について

また、国の第3次補正予算など追加の経済対策の動向や、本市の財政調整基金の残高などを踏まえて、市民生活や地域経済の状況を総合的に検討し、必要と判断すれば、本市独自の追加の経済対策を躊躇なく緊急に講じてまいりたいと考えている。

新年度の予算編成では、市税収入全体として約2億7千万円の減収が見込まれ、地方交付税及び地方譲与税等で約3億4千万の減収が見込まれる一方、不足する地方交付税の代替財源となる臨時財政対策債で、約5億

5千万円の大幅な増額が見込まれたことから、本市における令和3年度予算の歳入面での一般財源不足額は、全体で約6千万円と見込まれたところである。

歳出面では公債費や繰出金の見込額、各事業費の概算額により約4億円の増額が見込まれ、歳入面、歳出面の両方を合わせた一般財源不足額は、約4億6千万円と見込まれたところであり、本市財政の見通しは厳しさを増しているところである。

こうした見通しを踏まえ、将来を見据えた健全で持続可能な財政運営を掲げ、投資的事業などの実施年次を十分に検討し、事業の「選択と集中」並びに「平準化」を図るとともに、将来的な公債費の負担の抑制も図ることとしている。引き続き「最少の経費で最大の効果を挙げる」を基本として、歳出面では、安易に前例を踏襲することなく、事業目的の達成に向け、より効果の高い手法や対象の選択など、全ての事業内容について再検証を行うこととしている。

質問 米の生産調整の取組と地域農業の担い手や新規就農者育成への対策の考えを伺う。

市長 令和3年産米の適正生産量及び面積については、県の目標数値を踏まえ、減量せざるを得ない状況であり、飼料用米、大豆、ハトムギ、ソバ、園芸作物など、多種多様な作物の作付に取り組んでいる。

地域農業を将来にわたり継続していくためには、経営規模を拡大しつつ新規雇用就農などによる新陳代謝が重要であることや、ハトムギなどの既存の農産物の6次産業化、エゴマ、加工用トマトなどの新たな地域特産品の開発が必要であり、その対策として6次産業化を見据えた生産者と加工者、販売者を結ぶマッチング会の開催などに取り組んできたところである。

地域農業を今後どのように展開していくべきか、引き続き各集落での話し合いや、個々の農業者からの意見に耳を傾けながら検討してまいりたい。

質問 鳥獣対策としてイノシシの回収焼却の課題解決への考えについて伺う。

市長 イノシシの成獣の処理方法については、個体の大きさが80センチ以下を条件として回収しているが、80センチを超える大型個体について埋設処分とすることは地元関係者の負担が大きく、その対策として、来年度より試験的に業者委託による大型イノシシ解体を行い、解体した個体を焼却施設へ搬送し、焼却処分とすることを計画している。併せて昨年度からは回収時間帯を午前にも拡充しており、地元関係者の負担となつているイノシシの埋却処分を解消できるよう、検討することとしている。



捕獲されたイノシシ



会派「市民報徳会」
林登議員

▼動画配信中



- ◎ 県との連携について
- ◎ タウンミーティングについて
- ◎ 新型コロナウイルス感染症について
- ◎ 令和3年度予算編成について
- ◎ デジタルトランスフォーメーションについて

【質問】 本市の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対策並びに感染が市内で拡大した場合の備えを問う。

【市長】 「新しい生活様式」の徹底、また、感染リスクが高まる「5つの場面」の回避など、自身への感染防止はもとより、他の方々へ感染をさせない行動を徹底していただくなど、引き続き広く市民に注意喚起を図りたい。市内で感染が拡大した場合には、県砺波厚生センターからの指示の下、不要不急の外出の自粛要請、施設の使用制限等の要請、各事業所における業務縮小等による接触機会の抑制など、医療対応以外の感染対策を実施する。

【質問】 本市ではどのようにワクチン接種の体制を構築するのか。

【市長】 市医師会、それから県砺波厚生センターなどの関係機関と協議を行い、接種体制に係る検討や調整、それから相談体制の確保、接種券の印刷送付準備など、実際にワクチンの供給が可能となった場合に、早期に接

種を開始できるように、必要な準備を進めていく。

【質問】 財政状況が厳しい中で、税収減が見込まれるが、どのように事業を精査していくのか。

【市長】 歳入面、歳出面の両方を合わせた一般財源不足額は約4億6千万円と見込まれ、新型コロナウイルス感染症の影響も受けて、本市財政の見通しは厳しい。事業の「選択と集中」並びに「平準化」を図るとともに、将来的な公債費の負担の抑制も図る。引き続き「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを基本とし、歳出面では、安易に前例を踏襲することなく事業目的の達成に向け、より効果の高い手法や対象の選択など、全ての事業内容について再検証を行う。経常的経費は、令和2年度当初予算と比べ一般財源総額で5%削減する。政策的経費については、一般財源のさらなる絞り込みと後年度の公債費負担の縮減を図るため、サマーレビューで示した額から、さらに事業費総額で5%を削減する。

【質問】 費用対効果というのは、当たり前のことである。費用対効果以外の部分で市民に我慢していただくことがあるのか。

【市長】 市民の皆さんにご協力いただいているところには削減はなるべくしない。定住促進対策事業、おやべ型1%まちづくり事業といったところで、どこまで切り込めるかが中心になる。

【質問】 市内企業がデジタルトランスフォーメーションに向けてビジョンと戦略を構築できるような、具体的な支援策が必要ではないか。

【市長】 デジタルトランスフォーメーションは産業、観光、教育などの様々な分野で変革をもたらすものと考えられる。本市においても光ファイバーの整備などにより、デジタル化に向けた基盤整備を進めている。また、デジタル技術を活用するための人材の育成やITシステム導入のためのビジネスプロセスの見直しに係る負担などの課題があることが、デジタル化の遅れにつながっていると言われている。

市内企業に対する支援策については、市内企業の現状と課題をしっかりと把握し、国や県の動向を注視しながら、市商工会などの関係機関との連携を図り、有効な施策を検討したい。

【質問】 本市にデジタル推進課などを新設し、デジタル化を推進することは必要ではないか。

【市長】 「デジタル庁」の創設後には、各自自治体が個別に導入している情報システムの標準化やクラウド化がより一層進められ、手続きの簡素化、迅速化、行政の効率化などが図られるとされている。遅れを取ることはないようにしっかりと対応したい。新たな課を創設して対応するのか、あるいは既存の課の中にそういった体制を構築して対応するのか、今後、慎重に検討をしたいと考えている。



デジタルトランスフォーメーション(DX) …AI やIoTといったデジタルテクノロジーを活用した経営改革

◎小矢部市のこれからの学校教育のあり方について
◎新型コロナウイルス感染拡大への対応について



中田 正樹 議員



▼動画配信中

質問 今後の児童数の推移では、教育再生実行会議での結論が30人学級となっても、各小学校の学級数は変わらない。学校再編推進計画に大きな影響は与えない。

教育長 単級がこの後も続くのか、すぐ複数学級になつていくのか、またその時期がいつ頃になるのかなどが変わってくる。学校再編推進計画の策定に、大きな影響が及ぶと考えている。

質問 中学校進学時は中1ギャップと呼ばれ、先輩後輩、人間関係の再編成、勉強の難易度の上昇など、適応が大変な時期である。

教育長 不適応、不登校の生徒への対応として、少しずつ自律的に生活できるように支援をしている。今後適切な対応を心がけていく。

質問 年末年始の帰省がコロナウイルス感染拡大につながるリスクについて、どう分析をしているのか。

総務部長 親族や友人が集まり、会食機会などが多くなり、感染リスクが高まると考えている。



市HPに答申内容や児童数の推移予測等が載っています。30人学級の影響について、皆さんも分析してみてください。

質問 成人式の案内には、中止等の可能性に言及をされているが、その基準は。

教育委員会事務局長 成人式の開催予定時期に外出自粛、イベント開催の中止要請等があつた場合、中止と判断すべきと考えている。

質問 帰省する学生、成人式参加者などへのPCR検査費用の負担等の考えは。

教育委員会事務局長 検査費用の助成等は、財政面から、対応は困難である。

質問 成人式については延期という選択肢もある。GW、夏休み、お盆などの開催の可能性は。

教育委員会事務局長 外出自粛等の措置が取られた場合、延期して開催が可能か、関係者と協議が必要である。



嶋田 幸恵 議員



▼動画配信中

- ◎認定こども園について
- ◎水島・埴生保育所について
- ◎保育所跡地利用について
- ◎高齢者の生活支援について
- ◎介護予防について
- ◎消防署員の健康管理について
- ◎消防団活動について
- ◎避難訓練について

質問 水島、埴生保育所について、現状と今後を問う。

民生部長 来年度の入所希望者数については、現時点では埴生保育所55人、水島保育所23人となり、本年11月1日時点では、埴生保育所が10人の増、水島保育所が4人の減である。

認定こども園への移行をはじめ民営化などについては、新石動青葉保育園完成に伴う定員増加後の利用申し込み状況等を十分踏まえた上で、埴生及び水島保育所に対する影響等について分析などを行い、慎重に検討を進めていく事が将来的に必要なものと考えている。

質問 保育所跡地利用であるが、売り払いを含め現状を問う。

市長 跡地の活用について地元の自治振興会からの提案、要望を調査した際には、敷波地区の振興会、北蟹谷地区の自治振興会から介護予防施設としての活用、介護予防モデル事業の実施について提案、要望があつた。

質問 介護施設にしようとするが大変な改修費がかかると思うが、現実として可能か。

市長 ご指摘のとおり、トイレが小さい、バリアフリーになつていないなど、介護施設への改修には新たな費用負担が発生することになる。介護施設への改修に活用できる有効な財政支援もなく、旧保育所を介護の施設として活用するのは非常に難しいと考えている。

質問 健康寿命延伸のため地区の方の居場所作り期間限定で解放できないか。

市長 高齢者の方、若干引きこもりがちにならないを得ない中では非常に有効な施設であるが、維持管理費用も必要である。

質問 市長の英断を願う。

市長 地区の団体、福祉団体から貸していただきたいということになれば、当然協議させていただきたい。



昨年3月で閉所した旧敷波保育所・旧北蟹谷保育所

- ◎財政状況と財源の確保に向けて
- ◎PCR検査の助成について
- ◎小矢部市民交流プラザについて
- ◎おやべイルミ&タワーの存続について



▼動画配信中



白井 中 議員

質問 実質公債費比率、将来負担比率について、少し高めに推移しているが正常値に落ち着く見通しは。

総務部長 どちらも正常値ではあるが高い水準にあると認識している。実質公債費比率については、令和5年度に17%を超えてピークを迎え、数年間17%台で推移し、その後低下していくと見込んでいる。将来負担比率については、令和2年度末に200%を超えてピークを迎え、令和3年度以降は徐々に低下していくものと見込んでいる。

質問 市有財産の遊休地について、太陽光パネルを設置することによる財源確保、民間業者に話を持ちかけて土地を貸す、あるいは売却するなど、遊休地のより有効な活用を検討して欲しい。

副市長 太陽光パネルの設置については、設置に係る費用や設置後の維持管理費が発生すること、売電価格が下落傾向にあることなどを総合的に勘案すると、市が太陽光パネルを設置する



11月28日に開館した小矢部市民交流プラザ

ことは難しいと考える。また、それぞれの遊休地は公有財産検討委員会において売却など一定の方針を決定しており、賃貸や売却については、民間業者の方から話があれば相談に乗りたい。

質問 市民交流プラザの多目的ホールとクロスランドおやべのセレナホールとの利用料金の差が大きい。この料金設定では整合性が取れない。この際、施設料金を見直してはどうか。

教養委員会事務局長 現時点では、市民交流プラザの開館によって、クロスランドおやべのセレナホールの利用率が低下したというデータは出ていないことから、早期の利用料金の見直しは考えていない。なお、施設の利用料金の見直しについては、両施設だけにとどまらず、市全体の施設の整合性も踏まえて議論すべき問題と考えている。

- ◎小矢部市避難所運営マニュアル感染症対策編について
- ◎タブレット端末学習について
- ◎成年後見制度について
- ◎デジタル化推進における押印手続きの廃止について



▼動画配信中



出合 和仁 議員

質問 補完された、小矢部市避難所運営マニュアル新型コロナウイルス対策編の周知、訓練に伴う市民への定着化について問う。

総務部長 行動しやすい、実践的なマニュアルにすることが重要であると考えており、令和3年度の市総合防災訓練においてマニュアルに基づいた訓練を早速実施したいと考えている。併せて住民の皆さんと定期的に訓練を重ねながら、防災関係団体との研修会を通じて、定着化を図っていく。

質問 GIGAスクール構想における児童生徒へのタブレット端末の配布時期はいつ頃か。

教育長 児童生徒用タブレット端末1千952台については、12月18日には全台数が納入され、インターネット接続環境、学習支援ソフト等の設定を完了後、使用できる状態で3月8日には全小中学校に配布したい。

質問 教職員の研修も含め生徒へのタブレット端末を使用した実践的なスタート



昨年の小矢部市総合防災訓練

はいつ頃と考えているか。

教育長 教職員の研修については、先進校の授業をオンラインで視聴するなど既に始めており、端末と通信環境が整った段階で、実際の端末に触れ、オンラインの試行など体験的な研修を今年度行いたい。

質問 成年後見制度の充実をどのように考えているか。

民生部長 本市では、成年後見制度は不可欠なものと認識し近隣他市に先駆け、平成23年度から普及啓発に取り組んできた。呉西地区成年後見センターが設置され、権利擁護制度が必要な方や身寄りがない方等々が安心して暮らせるよう取り組んでいきたい。

質問 押印手続き廃止問題について本市の進捗を問う。

総務部長 市民や事業者に求める1千400件の押印手続きのうち、約500件は年内に廃止可能と考えている。

- ◎寿永荘解体及び周辺整備事業について
- ◎部活動のあり方について
- ◎GIGAスクール構想の運用について
- ◎LINE公式アカウント取得について



竹松 豊一 議員



▼動画配信中

質問 耐震性、影響度が高いため池の勘左工門池の耐震化についての見解を問う。

産業建設部長 貯水量が多く下流域の浸水想定範囲が広域で、家屋等の被害が広範囲であることから、ため池堤体の改修など耐震対策が必要であり、関係機関と連携して、早期の事業化に向けて進めていきたい。

質問 第7次総合計画の寿永荘解体及び周辺整備と昭和天皇が詠まれた山色連天の御製碑建立の見解を問う。

教育長 古代からの歴史的遺産が数多く残る場所であり、昭和天皇がこの場所から見た立山連峰の雄大な姿に感動されて歌を詠まれている。市民にとっても誇るべきことであり、その場所に歌碑などを設置することは、歴史文化の面からも大変意義があると考えている。

質問 古代から近世まで、様々な要素として歴史がある寿永荘周辺整備の調査、計画への見解を問う。

企画政策部長 四季を通しての自然豊かな景観と高台の眺望

の良さに加え、歴史にまつわる史跡が多くあり、有効に活用するため、調査し、計画を立てていきたい。

質問 部活動の今後のあり方に対する見解を問う。

教育長 令和3年度に、部活動のあり方検討委員会を立ち上げ、地域のスポーツ団体や保護者、学校等の関係者と協議していきたい。

質問 GIGAスクール構想でのICT支援員の設置状況について問う。

教員会事務局長 全ての業務内容を担えるICT支援員については、人材確保面で困難な状況であり、まずは学習支援ソフトの活用を支援できるICT支援員の早期配置ができるか調査、検討を進めている。

質問 LINE公式アカウント設置への見解を問う。



勘左工門池

本市の自治体規模における費用対効果を鑑みて、前向きに検討していきたい。

- ◎新たな財源発掘について
- ◎今年の農産物の出来及び対策について



山室 秀隆 議員



▼動画配信中

質問 令和3年度にはコロナの影響による税収落ち込みににより、一般財源で約4億6千万円不足するため、新たな財源を発掘するとあるが、昨年、金沢市では観光振興を図る施策費用に充てるため法定外目的税「宿泊税」を制定された。法定外目的税新設の手順を問う。

総務部長 まず関係団体、市民や学識経験者等広く意見を聞き、また特定の納税義務者に係る税収割合が多い場合は、条例制定前に議会での納税義務者の意見徴収したのち条例案を議会に提出し、議会可決後に総務大臣と協議をし、同意を得る必要がある。

選別され、社会資本整備に利用されているが、広域農道には埋戻し土砂を含めるとダンプの倍の重量のダンプが通過し、舗装に大きなダメージを与えて、毎年、舗装補修に70万円かかっている。市には鉱物（珪砂）の採取運搬のため土地の陥没、道路、橋梁の破損などの被害が多く、これらの復旧、維持補修に要する費用が多額になるために創設されている法的普通税の「鉱産税」がある。同じように舗装補修に特化した法定外目的税「砂利採取税」の創設について問う。

質問 法定外目的税に「砂利採取税」があり、現在は神奈川県山北町のみであるが、小矢部川右岸の松沢、正得、水牧、若林、水島地区で良質陸砂利が採取され、これまで受益面積の3分の1相当を掘削された。

陸砂利は農産物流通を目的に建設された小矢部川広域農道を利用し、選別所で



陸砂利採掘

総務部長 法定外目的税は特定納税者に新たな負担を求めることから、課税原則の「公平」「中立」「簡索性」を踏まえつつ、税源の状況や受益と負担の明確化などの観点からいろいろ波及があると考え、慎重かつ十分な調査・検討が必要である。



砂田 喜昭 議員

▼動画配信中



- ◎コロナ禍のもとでの税金の減免、延滞金の減免について
- ◎国連家族農業の10年について
- ◎コロナ対策で医療・介護・保育の職場で定期的にPCR検査を
- ◎剪定枝の処理について
- ◎補聴器と公共施設会議室の磁気ループシステムについて
- ◎歯列矯正に保険適用を

質問 コロナにより前年所得比3割減で、国保税や介護保険料などを減免する制度ができた。ただ、コロナ以外の事情では7割減収しないと減免されないが、本市では独自に、生活保護基準の1.2倍以下の収入で、蓄えも生活保護基準の5カ月分もない人を救っている。ぜひ、減免制度の改善を働きかけてもらいたい。

民生部長 所得の減少に伴う減免について、本市と同じ基準にすれば、生活困窮から救われる。介護保険組合や後期高齢者医療広域連合に働きかけていきたい。

質問 滞納税を分割納入しても延滞金の利率は8.9%で懲罰的である。滞納者の44.1%が所得100万円以下の低所得者であり、市民の暮らしを圧迫している。高岡市では延滞金の減免実績もある。本市でもぜひ減免を求めたい。

質問 コロナにより前年所得比3割減で、国保税や介護保険料などを減免する制度ができた。ただ、コロナ以外の事情では7割減収しないと減免されないが、本市では独自に、生活保護基準の1.2倍以下の収入で、蓄えも生活保護基準の5カ月分もない人を救っている。ぜひ、減免制度の改善を働きかけてもらいたい。

民生部長 所得の減少に伴う減免について、本市と同じ基準にすれば、生活困窮から救われる。介護保険組合や後期高齢者医療広域連合に働きかけていきたい。

質問 滞納税を分割納入しても延滞金の利率は8.9%で懲罰的である。滞納者の44.1%が所得100万円以下の低所得者であり、市民の暮らしを圧迫している。高岡市では延滞金の減免実績もある。本市でもぜひ減免を求めたい。

産産建設部長 農産物の価格補償や環境保全に対する支援については、さらに努めてまいりたい。

質問 難聴者のための磁気ループシステムを公共施設に無料で貸出して欲しい。

教育委員会事務局長 市民交流プラザに移動式のを配備した。公民館等への無料貸出しも検討する。



磁気ループシステム (移動式)

一般質問

- ◎校務支援システムについて
- ◎学校給食の「公会計化」について
- ◎小矢部市営スクールバスの運行状況について
- ◎消防団について



石田 義弘 議員

▼動画配信中



質問 平成30年4月に導入した校務支援システムの導入の効果は。また、今後の運用についての考えは。

教育委員会事務局長 導入の効果については、システム一元化による事務の軽減により、教職員の多忙化を解消し、児童生徒と向き合う時間の充実を図ることができると考えており、今後とも教職員の皆様からシステムの改善箇所についての提案を受け、改善を図りながら、教員の超過勤務時間の減少につなげていきたい。

質問 学校給食費を公会計化することについて、メリット・デメリットは。

教育長 メリットは学校が行っている給食費の徴収管理を市が行うことで、学校事務職員や教職員の負担軽減につながることで、デメリットは市で徴収管理を行うための制度設計や事務量の増加に対応する人員配置、システムの導入経費等が必要となることだと考える。

質問 教職員の負担を軽減し、教員本来の仕事を取り

戻すためにもぜひ公会計化を進めて欲しい。

教育長 公会計化は教職員の負担軽減につながるから、市で独自に調査を行い、取り組んでいきたい。

質問 消防団員の定数について見直しの考えはあるか。

総務部長 現在、見直しは検討していないが、今後の公共施設再編の中で実施される消防施設の再編に併せて検討していきたい。

質問 石動第1分団の消防屯所が移転するが、団員のなり手不足や高齢化、効率化などを考え、基幹屯所のように消防車や小型ポンプを複数台所有して対応していく考えはないのか。

総務部長 現段階においては、基幹屯所という検討はしていないが、今後、人口や管轄エリアといった内容も加味しながら消防団の再編について検討していくべきだと考えている。



消防団員のなり手が不足しています。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、コロナ禍の中で、市税、交付税等の歳入の減少が見込まれることから、来年度の予算編成は、限られた財源の中で最大の効果を上げられるよう取り組むこと。

また、入札残などを早くに把握し、効果や必要性を十分検証し、適宜適正な予算執行に努めること。

第二に、大谷博物館は、年間入館者数が少ないことから、季節の企画に加え、名誉市民の大谷兄弟にスポットを当てて広く紹介し、ふるさと教育、ビジネスセミナー等に活用するなどして盛り上げていくこと。

第三に、民間の路線バスが減便になる中、市営バスの運行は、高齢者や学生の足としてますます重要になっていくことから、近隣市と連携し、共同運行について調査、研究を進めること。

総務産業建設常任委員会

一点目は、今回作成した小矢部市避難所運営マニュアル（新型コロナウイルス

ルス感染症対策編）に基づき、自主防災会など各種団体と連携しながら、各地区において個別に訓練を実施すること。また、訓練の実施により、随時マニュアルを見直し、さらに実践的なマニュアルとなるよう努めること。

二点目は、厳しい財政状況の中において貴重な財源となるふるさと納税について、市ホームページやSNS等を活用し、積極的な広報に努め、寄付額の増加を図ること。

三点目は、道の駅について、来年度から指定管理者が変更となることからスムーズな引き継ぎを支援するとともに、施設の効用が最大限に発揮され、より利用者に愛される施設となるよう努めること。

民生文教常任委員会

一点目は、新型コロナウイルス感染症対策のPCR検査助成について、助成対象となる基準が曖昧であることから、市民への混乱を招かぬよう、助成対象の具体的な例を挙げ、明確な基準を記した実施要綱を早期に作成の上、実施すること。

二点目は、GIGAスクール構想について、端末整備後の運用にあたっては、ICT支援員の早期確保を行うこと。加えて、教職員の指導力に差異が出ないよう、ICTの活用能力向上を図る支援を行うこと。

三点目は、学校給食センター整備基本構想について、市の財政状況や将来的な見通しを踏まえ、長寿命化を含めた精査を行うこと。また、現在地での整備が困難な場合における用地の選定においては、現有する市有地の活用を最優先とすると共に、PPP/PFI方式等による効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る施設整備手法の可能性を検討すること。

閉会中委員会開催状況

総務産業建設常任委員会

11月17日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 除雪の発注状況をホームページで公表していたと思うが、今年もされるか。以前は、その取り組みを知らないとこの声が非常に多かったので、周知徹底して欲しい。

回答 除雪の出動状況については、ホームページの新着情報にあげることとしており、即時に掲載するようにしたい。また、ホームページで公表していることについて周知徹底したい。

民生文教常任委員会

11月11日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 インフルエンザワクチンが不足

すると言われている。不足する場合は、予防接種を希望する方が接種できるように対応をお願いしたい。

回答 インフルエンザワクチンがなくなったという相談は、今のところ受けていないが、医師会を通して現状を細かく注視し、必要に応じて市民へ情報提供していきたい。

公共施設再編特別委員会

11月17日、24日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 小矢部市総合保健福祉センター（仮称）多世代交流ひろば「整備基本構想案について、全体的に検討が必要である。

回答 委員の皆さんからいただいた意見を踏まえて、今回お示した基本構想案を見直し、改めて報告する。

地域活性化特別委員会

10月27日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 周辺住民の居住環境を著しく害している特定空家が数件ある。特定空家解消のため、より一層の努力をお願いしたい。

回答 市が行政としてできることは限られているが、一刻を争う危険な状況になった時に、どこまでできるかなど引き続き調査研究してまいりたい。

会務報告

令和2年9月19日から令和2年12月3日まで

年月日	件名	摘要	開催地
2.10.8 .9 .12	決算特別委員会	・付託議案審査 議案第52号及び認定第1号から認定第8号まで	第一委員会室
10.9	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.199について	第二委員会室
10.19	地域活性化特別委員会	・特定空き家現地視察	市内
10.23	全員協議会	・おやべルネサンス総合戦略事業の点検・評価について他1件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.199について	第二委員会室
10.27	地域活性化特別委員会	・本市の特定空家の現状について報告	第一委員会室
10.28	高岡地区広域圏事務組合議会定例会	・議事 監査委員の選任及び令和元年度決算認定について	高岡市
10.29	富山県市議会議長会正副議長研修会	・講演「鉄鋼王を生んだ大谷家と小矢部市」、視察「大谷博物館」	市内
11.11	民生文教常任委員会	・小矢部市交通安全都市宣言(案)の策定について ・議会事務事業評価	第一委員会室
11.17	総務産業建設常任委員会	・令和2年度除雪計画について ・議会事務事業評価	第一委員会室
	公共施設再編特別委員会	・おやべ温泉の売払い公告結果について他3件報告	
	議会運営委員会	・11月臨時会提出議案等について	第二委員会室
11.24	公共施設再編特別委員会	・小矢部市総合保健福祉センター「(仮称)多世代交流ひろば」整備基本構想(案)について	第一委員会室
	全員協議会	・11月臨時会提出議案等について ・議会事務事業評価報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・11月臨時会議案第53号から議案第56号までの発言通告及び採決方法について審議	第二委員会室
	本会議	・11月臨時会議案第53号から議案第56号までについて議決	議場
11.27	議会運営委員会	・12月定例会提出議案について	第二委員会室

3月定例会の日程(予定)

5日(金)10時本会議(提案理由説明)

全員協議会

8日(月)

議案調査日

9日(火)

議案調査日

10日(水)

議案調査日

11日(木)

9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

12日(金)10時本会議(一般質問)

15日(月)10時予算特別委員会

16日(火)10時予算特別委員会

17日(水)10時予算特別委員会

18日(木)10時 地域活性化特別委員会

14時 民生文教常任委員会

19日(金)10時 公共施設再編特別委員会

14時 総務産業建設常任委員会

22日(月)

議案調査日

23日(火)10時 議会運営委員会

委員長会議

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※青色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。

※予算特別委員会は翌週に再放送予定

本会議の録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。



『小矢部市議会 アンケート』 結果報告

前号で実施いたしました小矢部市議会アンケートの結果の概要についてお知らせします。ご協力いただきありがとうございました。市民の皆様から寄せいただきました貴重なご意見は、今後の参考にさせていただきます。

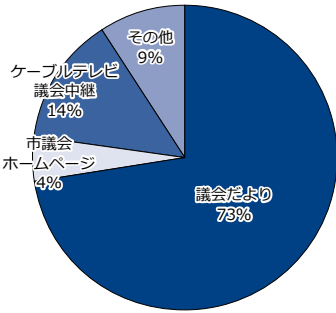
※プレゼントについては、厳正な抽選のうえ、当選者へ発送いたしました。

調査期間：令和2年11月12日～12月11日

回答者数：17人

1 市議会の活動の情報は何で入手していますか？【複数回答可】

議会だより	16
市議会ホームページ	1
市議会 Facebook	0
ケーブルテレビ議会中継	3
本会議インターネット配信	0
その他	2
計	22



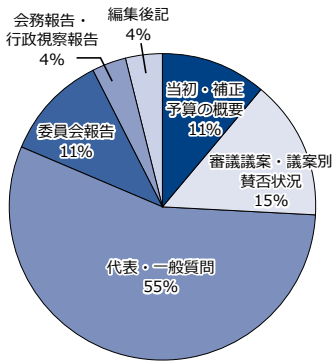
・その他の回答（市広報、新聞）

3 議会だよりについて、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などで自由に記入して下さい。

- ・代表・一般質問にはすごく興味をひかれています。何気なく生活している中で市報の中には含まれているから議会についても知れるのが良いと思う。
- ・もっとわかりやすくしてほしい。文字ばかりで読む気を無くす。
- ・議会の質問と回答をもっと細かく見たい。
- ・小矢部市議の政務活動費の使用状況を知りたい。
- ・一人暮らしが多くなりつつあるので、防災について心配している。
- ・質問に対する当局の答弁も簡潔にまとめられており、わかりやすい記述になっている。
- ・コロナ禍で感染ルートをもっと詳しく情報が欲しい。毎日が不安で仕方ない。
- ・これからも継続して定期発行して欲しい。
- ・議員の持ち回りによる自由な随筆。今後、市政に対して行いたいこと。

2 議会だよりで関心のある記事は何ですか？【複数回答可】

当初・補正予算の概要	3
審議議案・議案別賛否状況	4
代表・一般質問	15
委員会報告	3
閉会中委員会開催状況	0
会務報告・行政視察報告	1
編集後記	1
計	27



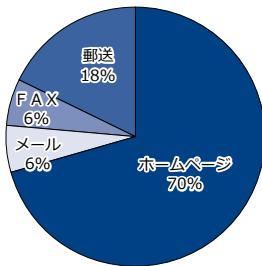
4 市議会に対してのご意見等をご自由に記入して下さい。

- ・学生にもわかるような噛み砕いた内容での報告版を作ってみては。
- ・小矢部市は子育てしやすい市だと思うので、もっとその面をアピールして、人口増加に繋げて欲しいと思う。
- ・小矢部市の人口が減少している事についての今後の政策について。アウトレットには来るけど、石動の町に旅行者が来ないのは？
- ・各支部の小さな意見にも議論されるような議会であって欲しい。弱者のための議会であって欲しいと願っている。
- ・介護現場に働いている私たちは常に不安である。外出を我慢し、近くの友人とも会えない状況である。
- ・市の商店街の活気作りと矛盾するかもしれないが、スーパー及び大型専門店等の衰退による市内からの撤退を防いで欲しい。

※議会だより及び市議会に対してのご意見等について、このほかにも多くのご意見をいただきました。ご協力いただきありがとうございました。

【回答方法】

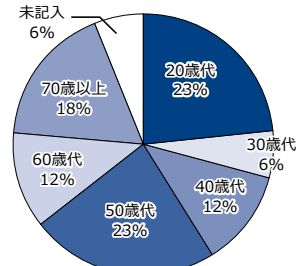
ホームページ	12
メール	1
FAX	1
郵送	3
計	17



※ホームページの入力フォームから多くの回答がありました。

【回答者の年代】

20歳代	4
30歳代	1
40歳代	2
50歳代	4
60歳代	2
70歳以上	3
未記入	1
計	17



編集後記

今もなお、新型コロナウイルス感染拡大が長期化し第3波の猛威が押し寄せています。いつ「収束」から「終息」するかは誰にもわかりませんが、この逆境にどう立ち向かっていくか、新しい生活様式の下で克服して普段の生活に戻る時が、必ずやってきます。

さて、今回は昭和四十六年五月に第一号の「小矢部市議会だより」が発刊されてから半世紀の節目二〇〇号を発刊します。

市議会では、初刊から皆様に身近で開かれた議会を目指し、議会の情報を発信してまいりました。情報伝達革新に伴いデジタル化が急速に進んでおりますが、貴重な紙媒体である「小矢部市議会だより」がさらに見やすく、わかりやすい紙面になるように議員一同より一層努力してまいります。

（議会だより編集委員 山室記）
 次回の「議会だより」は、令和3年5月の予定です。